

（様式2）

令和7年度

学校評価の4点セット整理票

2学期版

日田市立

戸山中

学校

令和7年8月6日

検証・改善フローシート

月ごとのや学期途中での検証・改善に繰り返し使用できます。

確認・検証・改善【 回目】

月 日（ ）実施

【学校の教育目標】

互いの成長を認め合いながら自ら道を拓く生徒の育成

【育成を目指す資質・能力】

問題発見・解決能力

重点目標

達成指標

重点的取組

取組指標

知識・技能

思考力・表現力

力・学に力・人間性等の涵養

担当

基本的内容に合った学び方で

○ 学力調査における正答率50%以上を70%以上  
※定期テストも同様  
\* R7.1学期末:75%

○ 「自分に合ったやり方を見つけ、家庭学習に取り組むことができる。」の「そう思う」の回答を60%以上  
\* R7.1学期末:56%

○ 学力調査における正答率50%以上を70%以上  
※定期テストも同様  
\* R7.1学期末:75%

○ 「自分に合ったやり方を見つけ、家庭学習に取り組むことができる。」の「そう思う」の回答を60%以上  
\* R7.1学期末:56%

○ 学校公開への積極的な参加

○ 地域住民は学期に1回以上来校し、生徒の様子について学校と情報共有する。

○ 授業者は学期に1回以上、探究学習に取り組ませる。  
※教師の効果的な支援

○ 協働的な学びの推進

○ 授業者は単元に1回以上、学習班や研究班を活用した交流活動を設定し、学びの成果を振り返らせる。

○ 保護者は週に1回以上、学校生活の様子について子どもとの会話の時間を持つ。

○ 地域人材リストの活用

○ 学校運営協議会と連携して、学期に1回以上ゲストティーチャーとして協力する。

○ 「地域（周り）のために自分の力が役立った」の「そう思う」の回答を60%以上  
\* R7.1学期末:49%

○ 「友人や地域の方に気持ちの良い挨拶ができた」の「そう思う」の回答を80%以上  
\* R7.1学期末:77%

○ 「部活後1時間以内に退勤する」の回答80%以上  
\* R7.1学期末:75%

○ 「時間外勤務の縮減を実感できた」の回答90%以上  
\* R7.1学期末:88%

○ 業務の見直し

○ 運営委員会は月1回時間外勤務の状況を把握し、検証と改善を行う。

○ ICTの有効活用（会議資料等の効率化）

○ 職員間の情報共有と連携を強化し、業務の効率化を図る。

（評価 4:100%以上 3:80%以上100%未満 2:60%以上80%未満 1:60%未満 ※%は達成率）

取組指標に対する取組状況の確認

達成指標に対する達成状況の確認

達成指標・取組指標の妥当性を検証

評価

改善方法

取組状況（エビデンス）

実施率

達成状況（エビデンス）

達成率

指標別

全体

学校関係者評価（月 日）

考察

評価

○ 学力調査における正答率50%以上を70%以上  
※定期テストも同様  
\* R7.1学期末:75%

○ 「自分に合ったやり方を見つけ、家庭学習に取り組むことができる。」の「そう思う」の回答を60%以上  
\* R7.1学期末:56%

○ 学力調査における正答率50%以上を70%以上  
※定期テストも同様  
\* R7.1学期末:75%

○ 「自分に合ったやり方を見つけ、家庭学習に取り組むことができる。」の「そう思う」の回答を60%以上  
\* R7.1学期末:56%

○ 学校公開への積極的な参加

○ 地域住民は学期に1回以上来校し、生徒の様子について学校と情報共有する。

○ 授業者は学期に1回以上、探究学習に取り組ませる。  
※教師の効果的な支援

○ 協働的な学びの推進

○ 授業者は単元に1回以上、学習班や研究班を活用した交流活動を設定し、学びの成果を振り返らせる。

○ 保護者は週に1回以上、学校生活の様子について子どもとの会話の時間を持つ。

○ 地域人材リストの活用

○ 学校運営協議会と連携して、学期に1回以上ゲストティーチャーとして協力する。

○ 「地域（周り）のために自分の力が役立った」の「そう思う」の回答を60%以上  
\* R7.1学期末:49%

○ 「友人や地域の方に気持ちの良い挨拶ができた」の「そう思う」の回答を80%以上  
\* R7.1学期末:77%

○ 「部活後1時間以内に退勤する」の回答80%以上  
\* R7.1学期末:75%

○ 「時間外勤務の縮減を実感できた」の回答90%以上  
\* R7.1学期末:88%

○ 業務の見直し

○ 運営委員会は月1回時間外勤務の状況を把握し、検証と改善を行う。

○ ICTの有効活用（会議資料等の効率化）

○ 職員間の情報共有と連携を強化し、業務の効率化を図る。